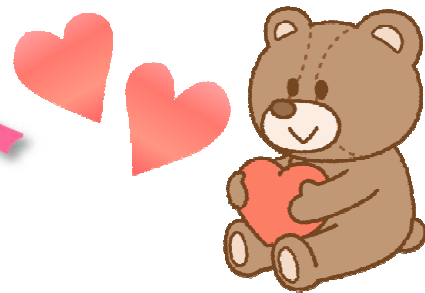
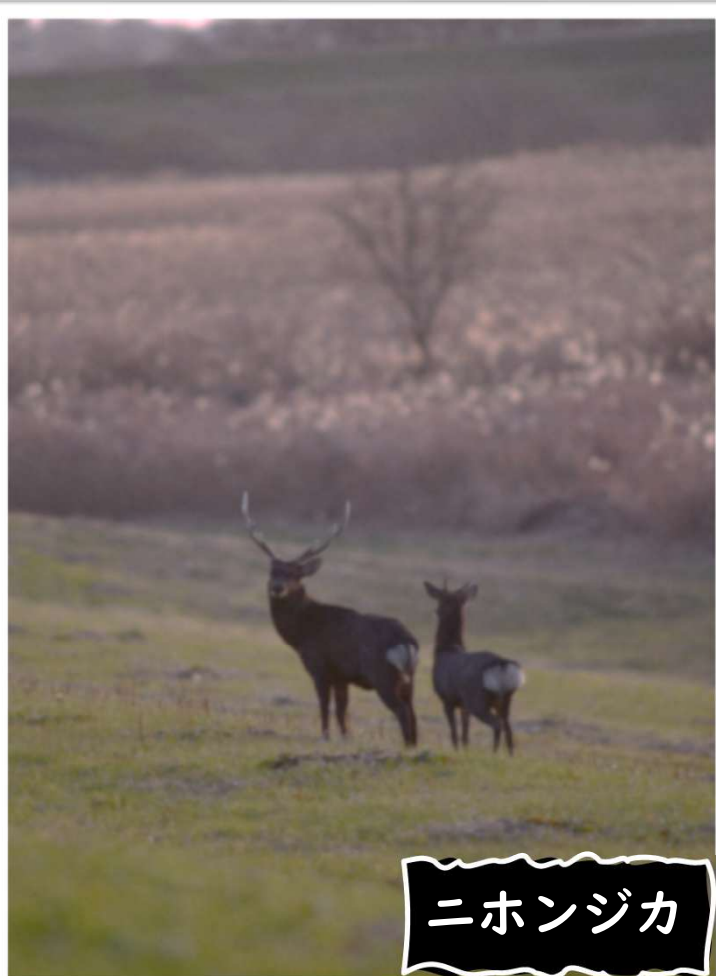




自然紹介



2月に入り、寒さも終盤。樹木が落葉する冬は野鳥観察だけでなく、遊水地には哺乳類もたくさん生息しており、大型の動物たちに出会えることもあるかもしれません。また樹木の枝先にある「冬芽と葉痕」をじっくり観察することもオススメです！冬芽で種類の同定にも役立ちますが、葉痕のとぼけた顔や愛らしい顔を見つけるのが一番の醍醐味です。皆さんもぜひ探してみてくださいね！



ニホンジカ



タヌキ



イタチ

《大型野生獣についての注意》

参考：栃木市HP

- 大声で威嚇したり、棒を振り上げたり、石を投げたり、不用意に接近したりせずに静かに見守りましょう。
- 野生獣が興奮状態にあるときは安全な場所へ避難しましょう。
- 人に馴れさせないために、野生獣にエサを与えたりしないください。



キツネ



イノシシ

コウノトリ繁殖期到来！

小山市の人工巣塔では5年連続でヒナが誕生しており、令和6年は3羽のヒナが巣立ちました。観察する際にはコウノトリを脅かさないよう、マナーを守った行動を心掛けましょう！

コウノトリの観察マナー

(参考：兵庫県立コウノトリの郷公園作成「コウノトリ飛来・繁殖時の対応パンフレット」より)

- 1) 静かに見守る
コウノトリを驚かさず、やさしく静かに見守りましょう。コウノトリの観察・撮影等は、コウノトリが遠ざかったり、飛び立ったりしないように、150m以上(自動車の中からは100m以上)離れましょう。
- 2) 地域に迷惑をかけることはやめる
コウノトリは集落周辺の水田、草地、河川、水路などで餌をとり、電柱や人工巣塔上に巣をつくります。無断で私有地や農地に立ち入らないようにしましょう。また、農道や林道に駐車して通行の妨げにならないようにしましょう。
- 3) 繁殖期には巣に近づかない
2月から7月はコウノトリの繁殖期です。この時期に人が近づくと、巣づくりや子育てに悪影響を与えることがありますので、コウノトリの巣には近づかないようにしましょう。
- 4) 餌をあげない
野外で生活するようになったコウノトリは、「野生動物」です。野生復帰の目標のひとつである、野外でのコウノトリの自活、存続可能な野生個体群の確立のためにも、餌やりをしないようにしましょう。一度、野外のコウノトリに人間が餌を与えてしまうと、自分で餌を探さなくなるだけでなく、人間を攻撃したり、交通事故に遭ったり、「人間と動物の共通感染症」の媒介者となる恐れがあります。

※遊水地内ではイノシシも目撃されております。観察する際は十分ご注意ください。



冬芽・葉痕を観察してみよう！

冬芽は冬の時期に枝の先や途中についている葉や花の芽のことをいい、来春にそなえて用意しておく葉っぱや花の芽のこと。寒く乾燥した冬をのりこえるために様々な工夫をして、その身を守っています。葉痕とは葉っぱが枝から落ちた痕跡のことを言います。笑顔の顔やとぼけた顔のように見える葉痕には癒されること間違いなしです！

～冬芽の作戦その①～

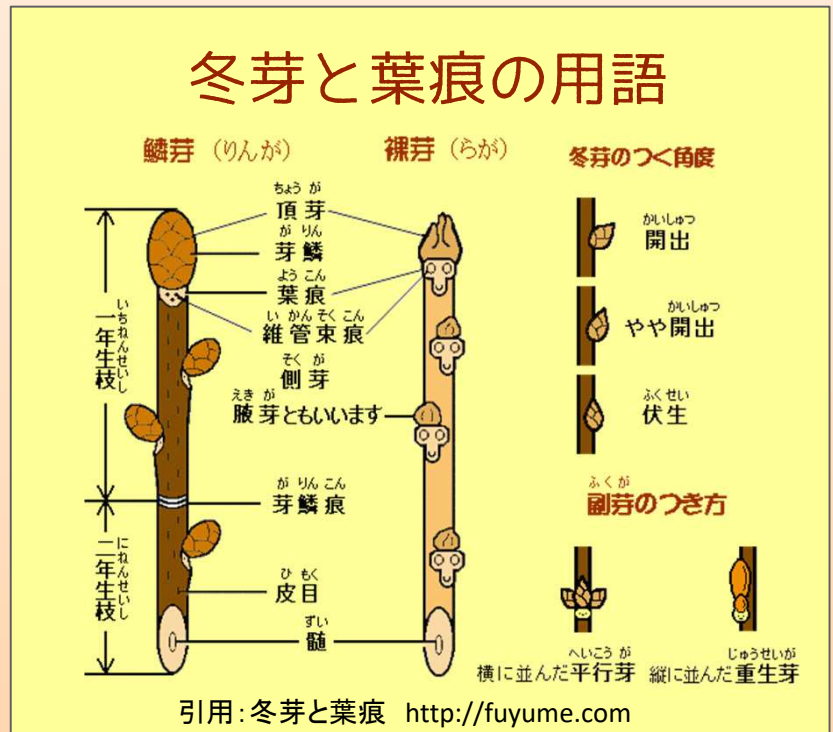
うろこ状のような鱗芽で守る！



クワの木



ドウダンツツジ



～冬芽の作戦その②～

べたべた油分で乾燥や虫をガード！



トチノキ



コブシ

～冬芽の作戦 その③～

毛で覆い、暖かくする！

♪ 番外編 面白い顔特集 ♪

笑顔がチャーミング♪



センダン



クズ

クズは本当に表情が様々！
ムンクの「叫び」を思わせるような
怖い顔が多い

オニグルミ

冬芽といえばオニグルミは外せません！
アルパカ顔が可愛い♡

冬芽・葉痕は植物や枝先によってそれぞれ。あなたはどんな枝に出会えるかな？